

学校だより

6月号



れいわ ねん がつ にち 令和3年5月31日 よこはまし りつかみいい だ しょうがっこう 横浜市立上飯田 小 学校

http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiiida/

たまな声を出せる機会を

こうちょう よこやまよしあき 校長 横山美明

さて、今年度の運動会は、4月号の学年だよりにも書かせていただいたように、3月に今の6年生が ねんせい うんどうかい 今回の運動会についての申し入れに来たところから始まりました。6年生は運動会をさらに良いものと こうはくたいこう とくてんせい がくねん ときょうそう きょり へんこう ぜんたい おこな きょうぎ ていするために、紅白対抗の得点制や、学年による徒競走の距離の変更、ブロック全体で 行 う競技の提 あん たの たの ないよう ていあん かたし いま おお こえ だ じょう 案など、よりみんなが楽しめる内容を提案してくれました。 私 からは「今は大きな声を出せない 状 こ たち おうえんだん おうえん へんこう おうえん ほうほう おうえん ました。子ども達はこれまでの応援団を応援リーダーと変更し、応援の方法もこれまでのように応援 だん ほか こ たち む ぁ こえ だ かたち ほんばん らん おうえん 団と他の子ども達が向かい合って声を出すという 形 ではなく、本番でご覧いただいたように、応援リ さんかじどうぜんたい てき おうえん こえ だ さんか しゃ き も たか ーダーと参加児童全体でのダンス的な応援となりました。声を出さなくても参加者の気持ちが高まるよ あうえん がら あうえん ぜんたいれんしゅう かく かい おこな うなすばらしい応援でした。また、この応援の全体練習は各ブロック1回しか行いませんでした。1 かい あ れんしゅう うご へいせい ねん がくしゅうし どうようりょうかいてい ちゅうがっこう 回だけの合わせ練 習 でこれだけの動きができるのは、平成20年の学 習指導要 領改訂で中学 校の いっぽう けねんじこう がた 近なものになっているのだと感じました。またその一方で懸念事項もありました。それは子ども達の ぜんたいきょうぎ こ たち おお こえ だ せいぜん おこな がっこう しどう ていましたが、子ども達は大きな声を出すことなく整然と 行 えていました。もちろん学校で指導して こえ だ やくそく まも よ むじゅん はなし いることなので「声を出さない」という約束が守れていることはとても良いことであり、矛盾する 話 *** こえ だ だんけつりょく ふか こ *** はっき なのですが、スポーツでは大きな声を出すことで、より団 結 力を深めたり個の 力 が発揮できたりする _{こうか} という効果もあります。コロナ禍にあって子ども達が生活の中で大きな声を出すといった機会がとても g< せいかつ つづ ウガ すがた み 少なくなっています。あとどのくらいマスクでの生活が続くかわかりませんが、こうした 姿 を見る